

報道関係各位

石油資源開発株式会社

Tel: 03-6268-7110 (広報代表)

<https://www.iapex.co.jp/contact/>

## インドネシア・スコワティ油田にてCO<sub>2</sub>圧入試験を開始

石油資源開発株式会社（JAPEX、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 昌宏、以下「当社」）は、インドネシア国営エネルギー会社 PT Pertamina (Persero)（以下「プルタミナ」）、PT Pertamina EP（以下「PEP」）、および独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC、本部：東京都港区、理事長：高原 一郎）と、インドネシア共和国（以下「インドネシア」）東ジャワ州のスコワティ (Sukowati) 油田において二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 圧入試験（以下「本試験」）を 2023 年 12 月 7 日に開始したことをお知らせします。

本試験は、本年 7 月にプルタミナ、PEP、JOGMEC と締結した共同スタディ契約<sup>(\*)1</sup>に基づき、スコワティ油田に対するハフ&パフ (Huff & Puff) 法<sup>(\*)2</sup>を用いた CO<sub>2</sub> の圧入を実施し、CO<sub>2</sub>-EOR (Enhanced Oil Recovery : 石油増進回収法) および CO<sub>2</sub> 貯留効果の検証の一助となるものです。

当社にとって、本試験は初めてのインドネシアにおける油ガス田への CO<sub>2</sub> 圧入であり、同国での CCS (Carbon dioxide Capture and Storage : CO<sub>2</sub> の回収・貯留) および CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage : CO<sub>2</sub> の回収・有効活用・貯留) 等のカーボンニュートラル分野の事業化に向けた重要なステップとなります。

当社は、2050 年カーボンニュートラル社会の実現に向けた「JAPEX2050」において、CO<sub>2</sub> 圧入・貯留技術を核としたネットゼロ達成へ貢献する分野の事業化を、注力する取り組みとして掲げています。今後も本試験を含め、国内外におけるカーボンニュートラル分野の事業化を目指した課題の解決や事業の実現により、時代に合わせた「総合エネルギー企業」としての成長と企業価値のさらなる向上を、引き続き目指してまいります。

以上

注)

\*1: 2023 年 7 月 26 日付プレスリリース「[インドネシア・スコワティ油田における CO<sub>2</sub> 圧入試験の実施に向けた共同スタディ契約を締結](#)」参照。

\*2: 1 本の坑井で CO<sub>2</sub> の圧入から生産までを実施する CO<sub>2</sub>-EOR の手法の一つ。CO<sub>2</sub> を地中に圧入し (Huff : ハフ)、十分に浸透させることにより油と接触させたうえで (Soaking : ソーキング)、CO<sub>2</sub> とともに原油を生産する (Puff : パフ) という 3 段階から成る。

(参考写真)



スコワティ油田にて圧入開始を記念するセレモニーのようす

(参考：上記写真中の登壇者氏名、左端から)

JOGMEC 岡部特命調査役

PT Pertamina Hulu Energi (PHE) アワン取締役

インドネシア国家エネルギー評議会 ジョコ長官

当社 海外 CN 事業推進部長 鈴木健一

PEP ムズウィル GM

プルタミナ オキ上級副社長

###